

# 令和4年度事業報告

## I 事業の概要

当財団は、岡山県内に居住する世帯の子弟のうち、心身健全、学力優秀又は勉学への意欲がある学生生徒で経済的理由により修学困難なものに対し、奨学上必要な業務を行い、もって将来社会に貢献し得る有為な人材を育成することを目的とし、2つの事業を行っています。

まず、奨学金の貸与に関する事業については、高等学校授業料無償化、高校生等奨学給付金の創設に伴い、新規採用者数は毎年減少傾向ではあります。しかしながら、令和2年から続く未曾有の危機とされる新型コロナウイルス感染症にまつわる経済状況の悪化、物価の高騰により、生活環境は非常に不安視されており、より進学の世界均等を保証する奨学金の重要性は変わらず高く求められています。

返還については、未収償還金が年々累増し、当財団の一番の課題となっていました。粘り強い回収に対する取組や督促強化により、令和4年度も昨年に続き未収償還金を減少することができました。引き続き、更なる未収償還金の減少及び新たな未収償還金の発生防止に努めるため、より一層回収強化を図っていきます。

また、令和元年度限定で実施した「被災生徒就学支援基金事業」奨学金のうち、令和4年3月末に高等学校等を卒業した奨学生より返還免除の申請があり、返還額全額免除が承認されました。

次に、学生寮の運営に関する事業については、令和3年度から寮室を完全個室とし、定員45名で運営をしています。令和4年度の寮生募集は、前期期間の応募は無く、後期期間1回の選考となりました。その結果、新規入寮生が11名入り、在寮生と合わせて40名の入寮状況となりました。

令和4年度は、新型コロナウイルス対策環境整備として、東京寮北廊下及び西階段室窓アルミサッシ改修工事とトイレ1階2階改修工事を実施しました。より良い寮生活ができるよう改善に努めています。

## II 事業活動

### 1 奨学金の貸与に関する事業

今年度の奨学金の新規採用実績は、育英奨学金209名の予算枠に対し、146名の応募があり、基準内の128名を採用決定（内2名辞退）。また修学奨学金52名の予算枠に対し、46名の応募があり、基準内の34名を採用決定（内7名辞退）しました。

詳細内訳は資料1のとおりです。

また、貸与実績については、資料2のとおりです。

○従来からある育英奨学金では、国公立高校（新規15名・継続37名）計52名に対

し、11,232千円を貸与。

○旧日本育英会高校奨学金地方移管分等の育英奨学金では、国公立高校（新規43名・継続66名）及び私立高校（新規69名・継続120名）計298名に対し、92,328千円を貸与。

○平成22年度から県より移管された修学奨学金では、国公立高校（新規6名・継続21名）及び私立高校（新規21名・継続48名）計96名に対し、31,110千円を貸与。

○通学貸付金では、平成26年度末にて貸与終了。

次に、奨学金の返還状況及び返還率については、資料3のとおりです。

○従来からある育英奨学金及び修学奨学金の返還金総額 137,919,836円

○旧日本育英会移管分等の育英奨学金の返還金総額 355,500,380円

○令和4年度返還率（現年分） 88.4%

令和3年度返還率（現年分）は89.0%であり、0.6%返還率は下降しています。

近年返還率は改善傾向であり、監査の指摘事項にあった新たな未収償還金の発生防止へ繋がるものではありませんが、令和4年度は、未収償還金については、昨年に続き減少することができましたが、返還率の向上へは至らず、新たな未収償還金の発生防止に課題が残っています。

返還金回収に対する現在の措置状況は、次のとおりです。

- ①電話督促員を配置し、初期滞納者に対し電話連絡を迅速に行う。
- ②滞納整理員（嘱託職員）を採用し、長期滞納者に対し訪問及び電話督促を細やかに行う。
- ③法的措置を導入し、長期滞納者の返還に対する意識向上を行う。法的措置選定基準の改正（令和2年度）により、対象者枠の拡大を図る。
- ④県外居住者や連絡が取れない等の督促が困難な者に対して、債権回収外部委託を導入する。今まで交渉ができなかった者への返還に対する意識向上を図る。
- ⑤月賦制度、口座振替制度の利用を図るように指導。また、状況に応じ分納を認める等、返還しやすい対応を行う。令和元年度から実施している分納返還を希望する者に対し「分割返還申請書」の提出を求め、定期的に分割返還することについて意識向上を図る。
- ⑥返還猶予制度を周知し、制度の活用を指導。
- ⑦長期滞納者のうち、既に返還終期を迎えている返還者へ督促強化を図る。
- ⑧コンビニ（一部スマホ決済可）収納について、利用促進を図る。返還者へ返還しやすい環境を周知する。また、スマホ決済の取引拡大を狙い、より返還しやすい環境を整える。

債権回収外部委託は、弁護士法人に委託しており、滞納者への通知文が弁護士名で送付されるため、今まで連絡や交渉ができなかった滞納者と交渉が進み、返還金回収に成果が出ています。（令和4年度回収率は4.9%）

他に、令和元年度から実施している貸与開始前に「事前確認書」を提出することで、貸与段階から返還に対する意識向上を図る取り組みも継続しています。

次に、通学貸付金の返還状況及び返還率は、返還金総額895,000円で、返還率（現年分）100%でした。

返還については、引き続き効果を上げた対策を継続しながら、更に効果的・効率的な対策についても検討するとともに、個々に応じた対応を粘り強く講じ、監査指摘事項の返還率向上を引き続き課題としていきます。

最後に、令和元年度限定事業の被災特例枠奨学生のうち、令和4年3月末に高等学校等を卒業した82名から返還免除の申請があり、返還額全額（20,880千円）の免除が承認されました。詳細内訳は資料4のとおりです。

## 2 学生寮の運営に関する事業

今年度は、新規入寮者数が11名、在寮生と合わせて40名で学生寮を運営しました。（入居率88.9%）

次年度の新規入寮生の募集については、各学校への周知依頼（一部学校訪問を実施）とホームページ・新聞・広報誌・フリーペーパーの記事掲載や岡山県立図書館のスポンサー広告等広報活動を実施した結果、2回の募集時期において募集定員を超える27名の応募があり、書類及び面接選考により10名を決定しています。令和5年度は在寮生と合わせて44名の寮生で運営予定となりました。定員に対し入寮率97.8%となる見込みです。引き続き安定した寮運営ができるよう入寮生確保について周知を図ります。

新規入寮者の詳細や在寮生の大学別人数は、資料5、6のとおりです。

また、その他事業である一般宿泊事業実績はありませんでした。近年利用者が減少しており、令和5年度は事業収益の見込みはなしです。

次に、施設については、コロナウイルス環境整備対策の一環として北廊下及び西階段室窓アルミサッシ改修工事とトイレ（1・2階）の改修工事とを実施しました。詳細は次のとおりです。

○令和4年6月15日（水） 工事請負業者決定

- ・工事名称 岡山県育英会東京寮北廊下及び西階段室窓アルミサッシ改修工事
- ・工事場所 東京都港区高輪3丁目14番21号 岡山県育英会東京寮地内
- ・請負業者 東京都品川区西五反田1-25-1  
株式会社ダイメイ 代表取締役 富田 成
- ・契約金額 990,000円（うち消費税及び地方消費税額 90,000円）
- ・工期 令和4年6月15日～令和4年10月15日

工事完成届は、令和4年10月15日に提出され、10月17日に工事しゅん工検査を終え、無事終了しました。

○令和4年6月29日（水） 委託業者決定

- ・委託業務名 岡山県育英会東京寮トイレ改修工事実施設計委託
- ・委託場所 東京都港区高輪3丁目14番21号 岡山県育英会東京寮地内
- ・委託業者 東京都文京区小石川5-13-5  
株式会社丸川建築設計事務所東京事務所  
取締役東京事務所長 林 卓也
- ・委託金額 1,870,000円（うち消費税及び地方消費税額 170,000円）
- ・委託期間 令和4年6月30日～令和4年9月20日

委託業務完成届は、令和4年9月20日に提出され、9月21日に完了確認を終え、無事終了しました。

○令和4年10月28日（金） 工事請負業者決定

- ・工事名称 岡山県育英会東京寮トイレ改修工事（1・2階）
- ・工事場所 東京都港区高輪3丁目14番21号 岡山県育英会東京寮地内
- ・請負業者 東京都港区三田3-1-23  
株式会社クリオンニセン 代表取締役 森澤 忠幸
- ・契約金額 12,881,000円（うち消費税及び地方消費税額 1,171,000円）
- ・工期 令和4年11月8日～令和5年2月28日

なお、工事作業中に工事内容に一部変更が生じたため、協議の上、令和5年1月27日に変更契約を行いました。

工事完成届は、令和5年2月24日に提出され、2月28日に工事しゅん工検査を終え、無事終了しました。

○上記工事監理委託

- ・委託業者 東京都文京区小石川5-4-1  
株式会社丸川建築設計事務所東京事務所  
取締役東京事務所長 林 卓也
- ・委託金額 1,815,000円（うち消費税及び地方消費税額 165,000円）
- ・委託期間 令和4年11月29日～令和5年3月21日

委託業務完成届は、令和5年3月21日に提出され、3月22日に完了確認を終え、無事終了しました。

### Ⅲ 庶務の概要

#### 1 申請・届出事項・県補助金等手続事項

##### (1) 申請・届出事項

- ① 役員の変更登記申請（令和4年4月14日）
- ② 役員の変更届を行政庁（岡山県）へ提出（令和4年5月30日）
- ③ 事業報告等を行政庁（岡山県）へ提出（令和4年6月30日）
- ④ 役員の変更登記申請（令和4年7月20日）
- ⑤ 役員の変更届を行政庁（岡山県）へ提出（令和4年7月28日）
- ⑥ 事業計画書等を行政庁（岡山県）へ提出（令和5年3月31日）

##### (2) 県補助金等手続事項

資料7のとおりです。

#### 2 会議開催状況

理事会、評議員会、選考委員会の開催状況は次のとおりです。

##### (1) 理事会

- ・ 第34回理事会（令和4年4月1日）書面決議  
第1号議案 常務理事1名選定の件
  
- ・ 第35回理事会（令和4年5月23日）ピュアリティまきび  
第1号議案 令和3年度事業報告及び計算書類承認の件  
第2号議案 被災特例枠奨学金返還免除決定の件  
第3号議案 定時評議員会の招集の決定の件  
報告事項 令和4年度事業報告
  
- ・ 第36回理事会（令和5年2月17日）ピュアリティまきび  
第1号議案 令和4年度補正予算案の件  
第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算案等の件  
報告事項 令和4年度事業報告  
令和3年度委員監査報告  
東京寮個別施設計画報告  
東京寮経費改定報告

(2) 評議員会

- ・第14回評議員会（令和4年4月1日）書面決議  
第1号議案 理事1名選任の件
  
- ・第15回評議員会（令和4年6月27日）ピュアリティまきび  
第1号議案 令和3年度事業報告及び決算承認の件  
第2号議案 評議員2名選任の件  
第3号議案 理事2名選任の件  
第4号議案 監事1名選任の件  
報告事項 令和4年度事業報告  
被災特例枠奨学金返還免除報告

(3) 選考委員会等

- ①令和4年度第1回奨学生選考委員会（令和4年6月28日）西川原プラザ
  - ・選考委員8名／育英奨学金 59名及び修学奨学金 20名採用
  
- ②令和4年度第1回法的措置検討委員会（令和4年6月28日）西川原プラザ
  - ・委員5名／12名法的措置対象者決定
  
- ③令和4年度第2回奨学生選考委員会（令和4年11月21日）ピュアリティまきび
  - ・選考委員9名／ 予約：育英奨学金 28名及び修学奨学金 15名採用  
在学：育英奨学金 26名及び修学奨学金 3名採用  
緊急：育英奨学金 ※別日追加選考にて1名採用
  
- ④令和4年度第2回法的措置検討委員会（令和4年11月21日）ピュアリティまきび
  - ・委員5名／3名法的措置対象者決定
  
- ⑤令和5年度第1回東京寮入寮生選考委員会(令和4年12月26日)西川原プラザ
  - ・選考委員5名（内2名はオンライン参加）／2名入寮許可
  
- ⑥令和5年度第2回東京寮入寮生選考委員会(令和5年3月16日)西川原プラザ
  - ・選考委員5名／8名入寮許可

### 3 役員・職員に関する事項

#### (1) 役員に関する事項

- ・令和4年4月1日  
理事及び常務理事 栗原 宏之氏 辞任  
滝澤 幸隆氏が理事及び常務理事に就任
- ・令和4年6月27日  
評議員 山野 通彦氏, 林 秀臣氏 2名辞任  
小倉 博俊氏, 今井 康好氏の2名が評議員に就任  
理事 竹田 義宣氏, 橋本 勇人氏 2名辞任  
武内 洋二氏, 菊地 潤氏の2名が理事に就任  
監事 小西 洋史氏 1名辞任  
光藤 伸史氏の1名が監事に就任

#### 役員等一覧（令和5年3月31日現在）

	役 職	氏 名		役 職	氏 名
理 事	会 長	門野 八洲雄	評 議 員	評 議 員	近藤 隆則
	副会長	山崎 親男		評 議 員	小倉 博俊
	副会長	鍵本 芳明		評 議 員	今井 康好
	常務理事	滝澤 幸隆		評 議 員	中塚 多聞
	理 事	伊東 香織		評 議 員	坂本 英幸
	理 事	原田 育秀		評 議 員	小林 洋明
	理 事	松田 久		評 議 員	三浦 一男
	理 事	武内 洋二		評 議 員	小田 幸伸
	理 事	片山 浩子		評 議 員	藤原 佳代子
	理 事	柏原 洋子		評 議 員	福島 治子
	理 事	菊地 潤		評 議 員	竹林 京子
監 事	監 事	光藤 伸史	理事11名／監事2名／評議員11名		
	監 事	亀森 敏宏			